

ICT補助金の活用

この度ワークセンターフレンドでは、松江市より頂いたICT導入モデル事業の補助金を活用し、フレンド内のネット環境の無線化と文書電子化ソフト及び、タブレットの導入を行いました。

今までサーバーに保存されている資料などを会議室で見る為には、事務室で印刷をした物を持ち出していました。事務室から離れた場所でもモニター画面で見る事が出来るようになり、タブレットを使用する事で作業現場でも資料確認や、記録の入力なども出来るようになりました。

また、文書の電子化は紙の節約にも役立っており、ネット配信されている研修動画など、職員各自がスマホで見る事が出来る環境になり大変助かっています。今回導入したICT環境を活用し、今後もより良い利用者支援に役立てていきたいと思ひます。
(ワークセンターフレンド・人見)

苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和6年12月～令和7年3月)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。

- 持田寮(ご家族から)
前日の短期入所利用時の与薬忘れにより、翌日、てんかん発作があり、転倒することがあった。
・繰り返しの利用をしている中で、薬の持参については、いつも通りにしているのに、なぜ今回は伝達、申し送りされなかったのか、教えて欲しい。
・てんかん発作による転倒、頭部受傷等の危険性についてもっと理解して欲しい。
・二度とこのようなことが起こらないように徹底して欲しい。

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気兼ねなく、お申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
武子 愛 氏 (島根大学人間科学部 講師) TEL0852-32-9053
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913
松江市障がい者福祉課 TEL0852-55-5304

利用者のみなさんの「声」受け付け報告 (令和6年12月～令和7年3月)

当法人では、利用者のみなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者のみなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。

各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思ひます。

	利用者のみなさまより	ご家族のみなさまより (世話人含む)
持田寮	47	0
ういんぐ	44	8
フレンド	36	0
ばすてる・ばすてるびいす	35	0
共同生活援助事業所	21	0
ケアセンター大空	21	0
合計	204	8

Leaving Care News 2025.6.1 No.151



対話の力

千鳥福祉会 理事長 江指裕嗣

馴染みの年長の女性利用者と顔を合わせるとよくこんな言葉を掛けられます。「ちょっと、話、聞くだわね。あんたも忙しいねえ…」

確かに今の役職に就いてから利用者のみなさんとゆっくり話をすることは減っています。

この仕事を始めて長くなりますが、振り返ってみると、利用者との数え切れない対話の上に私たちの関係は成り立ち、私たちの日々は続いています。ですが、この間、支援と言う名のものに、どれほど相手の方のことを変えようとしての押しつけが多かったのか、と反省をさせられる機会ばかりが増えるこの頃です。

利用者支援のみならず、人と人とのコミュニケーションの難しさを嫌と言う程、思い知らされる毎日です。会議に時間を費やして議論した割に結論は乏しく、決めたはずの事も履行されなかった、と言うこともよくあります。職員育成としての指導も後に響いていなかったか、と自身の力の無さを嘆くことも多いものです。

ところが、先日、こんな言葉を目にしてハッとしました。「対話の対は、対等の対」確かに、縦の関係性で話をしている時ほど、相手には伝わらないものです。利用者の方との関わりも、あれこれ訴えを聞いた後、話を少しずらして、どうでもいいような話に移した方が相手の方も穏やかで、雑談のような雰囲気の方が話の聞き入れが良かったようなことが何度もありました。個人としても、自宅に帰って、こんなことがあったと雑談をし、家族になんとなくでも聞いてもらえることが、自身の中での出来事の消化や疲労を癒すことにつながっているのだ、と気づかされます。横の関係性の効用です。

所詮、自分以外のことは他人事です。その他人事に付き合ってもらえることがどれほど自分のことを大事にもらえる行為なのか、今は理解できます。そして、「あなたは どうして そう考えるのか」を深く理解し合うために、一人ひとりが抱える人生の背景を知るための対話が必要なのだと思います。劇作家の平田オリザさんは対話についてこうおっしゃっています。対話と言うのは「自分と相手がいかに違っているかを理解し受け入れる」ためのものだ。それは対等な関係をつくって行く作業なのでしょ。

さわやかな風を感じながら、彼女との対話の時間に向き合いたいと思う、初夏の日です。

編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・後藤 ふうこ
- ・勝部 のぞみ
- ・浦田 美智子
- ・高本 舞祈
- ・三原 恵美
- ・小村 めぐみ
- ・松崎 純子
- ・植尾 佳代

後期全体フォーラム

開催

敷地内の桜がようやく色づき始めた3月28日、令和6年度の後期全体フォーラムが開催されました。

7年度の事業計画発表を中心に進行。資料には書き切れない熱い想いを語る方も。また、永年勤続表彰では、日頃聞くことのできない職員の想いが語られ、笑いあり涙あり…。

そして各事業所の選抜メンバーによる抱負発表、お馴染みの「よし!」の発声で、気合いが入りました。

いくつもの困難がある福祉業界ですが、職員皆が手を携えて、チーム一丸となり誠心誠意、利用者様の暮らしを支えていこう!と、改めて思えた夜でした。

(総務部・植尾)



「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



「Facebook」

法人のFacebookページを情報発信委員会運営しております。
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願ひします! (フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



「マチコミ」にご登録の皆様へ

職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。
アプリのダウンロードはこちらから。
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索>
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問ひ合わせください。

千鳥福祉会ホームページ
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

ういんぐ就労班の新しいメンバーを紹介します!

- 質問① 好きなこと・趣味は何ですか?
質問② 夢・目標は?
質問③ ういんぐはどうですか?

松浦 龍貴さん
(まつうら りゅうき)

令和7年2月~ご利用

質問への回答

- ① 動画でVTuberの歌を聴いています。あとゲームです。
② お金を貯めて好きな物を買う。
③ ごはんがおいしい。



作画: 某職員



写真提供: 某職員

ぶたさんが好きです

橘 陽香さん
(たちばな はるか)

令和7年4月~ご利用

質問への回答

- ① 食べること。こぶたのぬいぐるみ。動画を観ること。
② 工賃アップ。痩せること。
③ いいと思います。楽しいです。

桜舞う季節に...

ばすてる・ばすてるぴいすでは、3月に卒業生を送る会、4月に入学・進級お祝い会をそれぞれ行いました。送る会の内容は、ゲームやスライドショー、ダンスや記念品贈呈など...

限られた時間ではありましたが感謝の気持ちとエールを込めて、卒業生を送り出しました。また、お祝い会では自己紹介、やってみたい活動や行ってみたい所を発表。ぴいすでは、めでたい!に因んでたい焼きを食べてお祝いしました。

満開の桜もあつという間に終わり、新メンバーを迎えスタートした令和7年度も早1か月が過ぎました。今年度も児童さんの成長と素敵な笑顔を沢山見ることができるよう、様々な楽しい活動を企画していきたいと思ひます。(ばすてる・松崎)

卒業生を送る会



思い出をスライドショーで



しっかり挨拶してくれました



みんなで楽しくゲーム



権利擁護動画研修



安心安全のために

春になり、外出にも気持ちの良い気候となりました。ケアセンター大空では、利用者様の希望に応じ、直近ではお城まつりやぼたん祭りなど外出の支援を行っています。

また、最近のヘルパー勉強会では、毎年恒例の権利擁護・虐待防止研修や、救急法講習などを行いました。休日のお出かけは利用者様にとって大切なお楽しみですが、何かとリスクも付き物です。安心安全に外出して頂けるよう、私達も日々努めています。(ケアセンター大空・三原)

外出支援



救急法講習



初のお泊まり旅へ!

感染症も作業の繁忙期も落ち着きを見せた頃。日帰り旅行ばかりであったフレンドですが、事業所としては初の一泊旅行へ! 行先は神戸方面。明太パーク、甲子園球場、姫路セントラルパークなど巡り、更に2日目は2班に分かれて楽しみました。

帰られてからも、「朝が早かった...バスの中では寝てた」「宿泊先が豪華で食事美味しかった」「露天風呂は改装中で入れなかった...」など、感想を思い思いに口にしておられましたが、皆さん楽しげな様子であったことに、職員一同も大満足です。

今年度もはじまりから多忙なフレンド。仕事に励む利用者さんが合間に息抜きできるような企画を、また皆で考えていきたいと思ひます。(ワークセンターフレンド・高本)



姫路セントラルパーク



旅の車窓から



明太パーク

明太、ぱくっ



鳥と花の楽園へ!

今年の春の遠足は、皆でフォーゲルパークに出かけました! 出掛ける前から皆さんワクワクした表情で、今か今かと出発を待っておられました。現地ではフクロウショーを観覧。前のステージに立ちショーに参加される方、大きな鳥をゆったりと眺めておられる方、楽しみ方は人それぞれ。お昼は松花堂弁当。外で食べるお弁当にも皆さん大満足だったようです! また、帰りは一畑電車を使い、電車の旅を楽しんで戻られる方も。普段とは違った時間に、とても良い笑顔で一日過ごされていました。(持田寮・後藤)

ふくろうショーに参戦



電車の旅もしたい



んーおいしい!



フォトスポットで記念撮影



江フォーゲルパーク